

### ピアノ奏者「目が合っ」コンサート

### 音楽しなみでのが国の文化に親しむ

1月10日、地域交流センターにて「KEIKOとラトビア」ケイコ・ボルジェンJAZZコンサートが開催されました。「主催：450、後援：町教委」。ケイコ氏はスウェーデン国王から北極星メダルを授与された、日本が世界に誇るカリスマピアニスト。ラトビア子供支援の会長でもあり、世界各地でチャリティコンサートを行っています。今回は、長年コンビを組むラトビア出身のサクソ奏者、シンティス・オヴァルツ氏と共に来日しました。



観客に語りかけるように歌います。ピアノ奏者と「目が合う」というのは、なかなか味わえない体験ではないでしょうか。シンティス氏のサクソと即興で合わせるコンビネーションは、まさに「ジャズ」。2階まで満席の会場全体が、臨場感と迫力ある演奏に聴き入り、ケイコ氏からパワーを受け取ったようでした。「10年前に来た時と変わった東川を見てすごく感動している。一人一人が頑張っているこの町の人たちは幸せ。こういう町づくりが他の町でもできると良いと思う。いろんな人にこのすごさを伝えます」と語っていました。

ケイコ氏は、時に主旋律を左手で演奏し、あふれんばかりの情感を込めて、

感と迫力ある演奏に聴き入り、ケイコ氏からパワーを受け取ったようでした。「10年前に来た時と変わった東川を見てすごく感動している。一人一人が頑張っているこの町の人たちは幸せ。こういう町づくりが他の町でもできると良いと思う。いろんな人にこのすごさを伝えます」と語っていました。

### クリスマスイブの特別なひとじ

昨年12月24日、小西健二音楽堂にてドットレトミシー定期コンサートV.01・3を開催しました。今回はゲストにピアノ弾き語りの吉田朋代さん(旭川市)とウッドベースの奥田泰文さん(同)の2名を迎えたクリスマス(イブ)スペシャル。

深海のように心地よい吉田さんの歌

声とキョウスケさんの絶妙なハモりに、YOKOさんが奏でるピアノのメロディと低音から支える奥田さんのウッドベースが見事に重なり合い、天井・空間・床の3方向からのハーモニーが音楽堂を震わせました。



第1回目のゲスト・佐々木マサミツさんも加わった5人+観客のコンサートは、スペシャルの名にふさわしい回となりました。

永山さんのアロマ、雪が降る背景映像(マサミツさん作)やシーンに合わせた照明、居酒屋珈琲さんのクリスマスブレンドコーヒーなど、たくさんアイディアがトクベツな雰囲気を作り出していました。

### 言葉の力で「サマソング」を育む

### ピアノの音をなら、ロハスフェス

昨年12月28日、せんとびゅあーにて大雪野球少年団主催による辻正人監督(多賀少年野球クラブ、滋賀県)による子育て・組織論講演会が開催されました。



▲左が大雪野球少年団の小林監督、右が辻監督

「協力：町」

フリーになり、明るいうちになる「と辻氏。子育てに関しては、かつての自らの反抗期を反省し、「子どもの先生や友達の名前、好きなことなど何でも知っておき、いつも会話できるようにしていた」そう。「言葉の力をうまく使って素晴らしい人生を歩ませてあげて」と締めくくりました。

昨年12月22日、せんとびゅあーで「Lolas Festival (ロハスフェスティバル)クリスマス」市が行われました。「同実行委員会主催、協力：東川町」



▲リユース可能な器で料理を提供 ▲米田勝信氏(普段はデザイナー)によるジャズピアノ

ツグ作りやスワッグ(花や葉を束ねた壁かけ飾り)作り、アイシングクッキーなどのワークショップや、インド式ヘッドケア「チャンピサージ」体験なども。会場にはレゲエやジャズピアノ、ホルンなどの生演奏が響き、カレーやコーヒー、玄米おにぎりやお菓子を片手に耳を傾けるひととき。町内のみならず、町外からの来場者も多かった様子。東川らしい、心が豊かになるイベントでした。

### 町立日本語学校の発表会を初公開

昨年12月24日、せんとびゅあーにて町立日本語学校がクラス発表会を初めて一般公開しました。A～Fの6組の留学生が、それぞれ趣向を凝らしたクラス紹介のムービーを上映(「いろいろな国から来た人が日本語でコミュニケーションをとっていったか不思議」という学生のコメントが印象的)したのち、劇やダンスを披露。2組で

の合唱や、全員で「東川ソング」は地球のどまん中を歌いました。時には手話も交えての息ピッタリなパフォーマンス



▲サンタクロースが日本語学校に編入(D組の劇)



▲どじょうすくい(E組の踊り) ▲青春のダンスメドレー(F組)